

シリーズ「世界遺産ー歴史と文化を巡る旅」公開講座
 ～文化芸術の中心ーフランスの美を探る～
 『ヴェルサイユ宮殿を巡るーバロックからロココへ』
 開講日時：7 月 12 日(水)13:30～15:00

リーガロイヤルホテル(大阪市北区中之島、総支配人 ^{たなべ よしひろ} 田辺 能弘)の会員制カルチャースクール「エコー ル ド ロイヤル」では、昨年 9 月から一般財団法人懐徳堂(かいとくどう)記念会と共催で、「世界遺産ー歴史と文化を巡る旅」をシリーズで開講しています。中国、エジプト、イタリアに続き、シリーズ第 4 回は、『文化芸術の中心ーフランスの美を探る』と題して、世界的な建造物を生んだフランスを旅します。



今回のフランスの旅では、計 3 回の講座で 17 世紀から近代にいたるフランスの美の象徴を探ります。講師は、フランス近代文学とそれを生んだ文化・歴史を研究されている大阪大学文学研究科教授の和田章男氏です。

7 月 12 日(水)開催の 1 回目の講座では、17 世紀の絶対王政と宮廷文化を象徴する「ヴェルサイユ宮殿」を取り上げます。1682 年ルイ 14 世によって建築されたバロック建築の代表作です。

同宮殿はその後、ポンパドゥール夫人やルイ 16 世王妃のマリー・アントワネットなどの手により、優美なロココ調の一面が加わりました。19 世紀にはナポ

レオン・ボナパルトらにより新築と改修が繰り返され、今日に至っています。

パリの南西 22 キロの都市ヴェルサイユにあり、1979 年に世界遺産に登録されています。

シリーズ 4 回目の講座では、舞台を憧れの国フランスに移します。観光案内に登場する名所旧跡、絵画、音楽はそれらが創られた時代の価値観や夢を表現しています。フランスを象徴する美となった世界遺産を、時代ごとに紹介します。これから旅行を予定する方にも、旅の知的好奇心をさらに高める講座です。

【講 座 名】 懐徳堂記念会共催講座「世界遺産ー歴史と文化を巡る旅シリーズ」(第 4 回)
 『ヴェルサイユ宮殿を巡るーバロックからロココへ』

【会 場】 リーガロイヤルホテル ウェストウイング 2 階 宴会場

【開 講 日】 7 月 12 日(水) 13:30～15:00(受付開始 13:00)

【講 師】 和田章男(大阪大学文学研究科教授)

【料 金】 一般 3,000 円 リーガクラブ会員 1,000 円 懐徳堂記念会会員 2,000 円
 ※料金はすべて税込み

【申 込 み】 リーガロイヤルホテルのカルチャースクール「エコー ル ド ロイヤル」
 電話予約:06-6441-2938(直通) 受付時間:9:30～17:00(日・祝日休み)
 インターネット予約:<http://www.rihga.co.jp/osaka/culture>

**** 本件に関する取材の問い合わせ先 ****

リーガロイヤルホテル グループサービス部門 広報担当 ^{むらたまゆみ} 村田真弓、^{たかはしきと} 高橋佐都
 〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島 5-3-68
 TEL. 06-6441-1684(直通) FAX. 06-6441-1474

懷徳堂記念会共催講座
「世界遺産－歴史と文化を巡る旅」

リーガロイヤルホテルの文化教室「エコール ド ロイヤル」では、2016 年 7 月から江戸時代の大阪で開学した懷徳堂の精神を受け継ぐ懷徳堂記念会と共同で、古典や歴史を学ぶ懷徳堂記念会共催講座を開講しています。この講座の一環として、昨年 9 月から「世界遺産－歴史と文化を巡る旅」シリーズを開始しました。第 1 回は、「中国～始皇帝と兵馬俑～」をテーマに中国文化の源流を探りました。第 2 回は、「エジプト・アジア」をテーマに英国の植民地などとして影響を受けた国々の歴史と文化にフォーカス。第 3 回は、「庭から見えるイタリア・ルネサンス」というタイトルで 14 世紀、西洋近代文化の萌芽となるルネサンス期のイタリアにスポットライトをあてました。

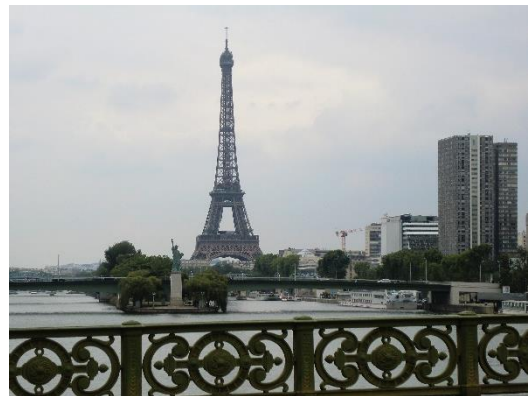
第 4 回の『文化芸術の中心－フランスの美を探る』は以下の日程・テーマで開催いたします。

【開講日・テーマ】

- | | |
|---------------|--------------------------|
| ① 7 月 12 日(水) | ヴェルサイユ宮殿を巡る － バロックからロココへ |
| ② 8 月 2 日(水) | ナポレオン神話とモニュメント |
| ③ 9 月 13 日(水) | モダニズムの詩－エッフェル塔とミラボー橋 |



②ナポレオンが作らせたパリのエトワール凱旋門



③モダニズム建築の先駆け、1889年建設のエッフェル塔

講師のプロフィール



大阪大学文学研究科教授 和田章男氏

専門分野 フランス近代文学

《プロフィール》

1954 年生、大阪大学大学院文学研究科博士課程修了。パリ第四大学第三課程博士。大阪大学文学部助手、言語文化部講師、助教授を経て、1993 年から現職。20 世紀フランス文学。主な研究テーマは、プルーストを対象にしながら、草稿研究、批評と創作の関係、書簡集の調査など。また他の作家の草稿と比較しつつ、近代作家の創作法を明らかにしようとしている。